



美篤保育園からこんにちは

平成29年6月



梅雨に入り、子ども達の大好きな園庭での泥んこ遊びが思うようにできない季節ですが、雨が降っていない時はすかさず園庭に飛び出したり散歩に出かけたりと戸外遊びを楽しんでいます。皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

＜美篤保育園保育目標＞

- 健康で意欲的に遊べる子ども
- 思いやりの気持ちが持てる子ども
- 自己表現をし、人の話を聞ける子ども

「生きる力のある子ども」を育む



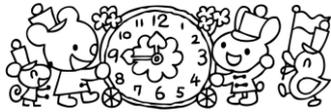
新入園の子ども達は、この3か月で少しずつ保育士や園生活に慣れてきました。家庭ごとの生活ルールで過ごしてきた子ども達が、“保育園ルール”を覚えて

友だちや保育士と生活できるようになるのですから、「みんな、頑張ってるね」と感心します。園生活は、楽しいことや嬉しいことがあります。が、“ルールを守って、自分も友だちも心地よく生活する”ために我慢したり頑張ったりすることもあります。例えば、「友だちが使っているおもちゃが欲しい!!」と思ったとき、取り上げるか、思うだけでモジモジしたままか…。この場合は、相手に「かして」と言葉で伝えると上手くいきます。取り上げず、モジモジのままでなく、上手に友だちと関わられるよう、保育士が仲立ちしたり見守って保育しています。ちなみに、年長組さんになると、子どもが保育士役をすることがあります。「Aちゃん、かしてって言えばいいよ」「Bちゃんさあ、ずっと使ってたからかしてあげればいいじゃん」などなど、これまた聞いていて感心します。そして、結構丸く収まるのです。経験の積み重ねの賜物ですね。

遊びながら、疑問や発見から学ぶ経験を積み重ねる場面もあります。「同じように植えたはずのラディッシュが、大きく育つものと枯れてしまうものがある。この差はなんだろう?」「大きなシャボン玉を作りたい。どうしたらいい?」などなど「試したがる」「知りたがる」「不思議がる」気持ちや行動が、学校での「学びの芽」や物事を見通す力につながります。



園の毎日



土と水はおもしろい!!



左は年少組さん、右は年長組さんの雨樋を使った水流しです。使う本数やつなげ方に経験の差を感じます。



水がよく流れる長い川です。



命を守る、交通安全ルール



畑の先生「赤羽さん」(上原)です。

今年も、畑作り♪



地域運営委員さんと、草もち作りやふれあい交流をしています☆

向山さんには、長年畑作りをご指導いただきありがとうございました。



園児の散歩につきましては、地域の皆様の生活道路を通らせていただきありがとうございます。車が来ることを前提にして交通ルールを守って歩いておりますが、時には通行のお邪魔になっていることもあるかと思っております。申し訳ございません。真夏や真冬以外は散歩に出ますので、よろしくお願いたします。

